

## Chapter 1.

# プレミアム会員主体の 共創活動

### ビストロifLinkでテーマを掲げた プレミアム会員2社の共創活動をご紹介します

プレミアム会員がそれぞれのテーマを掲げ、仲間を募り、IoT活用のアイデア発想から試作までを爆速で実施するオープンマーケティングプログラム「ビストロifLink」のご紹介です。掲げるテーマごとに進め方やゴール設定は自由ですが、コミュニティ内の仲間と共創することがポイントの活動です。2021年度も多様なバックグラウンドの会員が集まり、共創活動が行われました。

株式会社デンソー  
032 ——— 「ifLink ガレージ」オープン! **DENSO**

株式会社IHI  
038 ——— 宇宙を目指すIoT!?!? **IHI**

# 「ifLinkガレージ」オープン!

ifLinkガレージ・・・それはifLinkを使って誰もが自分の暮らしにマッチしたモビリティを創れる場です。

クルマはそのデジタル化によって、100年に一度の大変革の時期を迎えています。同じ規格の車両を大量に生産し、同じように使っていただく時代から、デジタル技術を活用し、使う人のライフスタイルや用途に応じてカスタマイズしたり、刻々と変化する時代のニーズに合わせて、機能や動作をバージョンアップする時代を迎えます。

そこでオープンしたのが、「ifLinkガレージ」です。コミュニティに集まった様々な背景を持つ方々に、ifLinkを活用して、モビリティの新しい使い方を自由に創っていただく場になります。

2021年度も、会員の皆様と様々な取り組みをさせていただきました。ここでは、弊社が主催した「車載ディスプレイのアイデアソン」と、クルマを使ったアイデアを手軽に試せる「バーチャルカー」の取り組みを紹介します。



株式会社デンソー  
木村 洋介



株式会社デンソー  
鬼丸 禎史

## 何を映したっていいんだよね?… 車載ディスプレイのアイデアソン

### 「花」と「団子」で Give & Give

車載ディスプレイといえば、カーナビや後席モニターなどが思い浮かびます。今後は大型化するでしょうし、設置される数も増えていくのかも?

そんな未来の車載ディスプレイの使い方を、年齢・性別・職種などの立場によらず、様々な視点で発想していただくアイデアソンを企画しました。

皆様の参加意欲を掻き立てるため、花（興味）と団子（利益）を用意しました。花としてディスプレイの最新動向のセミナーを、団子としてAmazonギフト券を全員にプレゼントおかげさまで、募集人数を上回る方にご参加いただきました。

## 運営は会員企業や学生と一緒に

手間がかかるイベント運営は、iLOC会員でもありノウハウをお持ちの、パソナテック様の協力を仰ぎました。

- アイデアシートの作成と宿題の配布
- Miroを用いたアイデア拡張手法
- グループ討議時のファシリテート
- 参加者への景品の配布
- アイデアソンの結果のレポート作成

と、企画段階から最後の振り返りまで支援いただきました。また、若者のチャレンジの機会として、学生グループのファシリテーターを募集し、昭和女子大学の小林さんに務めていただきました。

多くのアイデアが集まり議論が白熱したため、2時間半の枠では物足りないほどでした。



何を映したっていいんだよね?車載ディスプレイのアイデアソン



コロナ禍なのでオンライン開催  
コラボツールMiroで議論



## 思いもかけないユニークなアイデアが

我々メーカーの発想とは異なる、ユーザー視点のアイデアが多数生まれました。例えば…

- 在宅勤務のランチの悩みから生まれた、車体がタッチディスプレイになったキッチンカー。ボディー全体に映ったメニューを、車体タッチで選択・注文できます。
- 自動運転車の車室全体がディスプレイだったら…。スポーツ観戦にライブ鑑賞と使い方は十人十色！様々な視点から様々な使い方の議論が白熱しました。
- 助手席にホログラフィー投影できたら…。同乗者は実物でなくていいんです。離れていても大事な家族のAvatarや推しのキャラクターがいつも隣に、コロナ禍だから生まれたアイデアです。



車外ディスプレイで宣伝・注文する無人キッチンカー 車内がVR空間にライブ鑑賞?それともスポーツ観戦?



ナビ画面で推しキャラとバーチャルデート、未来は助手席にAvatar

## 配れるコネクティッドカー「バーチャルカー」

### パソコンやタブレットの中のマイカー

様々な情報をやり取りできる未来のクルマ、あなたの手元で動かしてみたくないですか？

そこで、デンソーは配れるコネクティッドカー「バーチャルカー」を開発しました！

バーチャルカーは、Webブラウザで動かせるアプリで、クルマの動作を再現できます。ifLinkを使って外部モジュールと連携も可能です。

例えば、スマホに「開け、ゴマ！」と喋ると、クルマの鍵が開く……このように思いついたアイデアをすぐに試せます。



配れるコネクティッドカー「バーチャルカー」



バーチャルカー構成図



バーチャルカーを動かしてみた

## 新人エンジニアが大学講師に

会員の東海大学様では、クルマの制御を学ぶ講義が行われています。講師からDX教育として、バーチャルカーのifLinkモジュールを提供してほしいと依頼があり、デンソーが講義に参加することになりました。また、講師から未来のクルマについての講演の依頼もあり、入社1年目の新人エンジニア、鬼丸が教鞭を執りました。こんな経験ができるのもifLink会員同士だからかもしれません。

講演後、学生が考えたアイデアを、バーチャルカーとifLink対応モジュールを組み合わせさせて試してもらいました。すると、学生から「面白い、未来のクルマで自分のアイデアが実現してほしい」といった大変好評な声をいただきました。デンソーとしても、クルマのアイデアを試してもらえたり、バーチャルカーの改善点をフィードバックいただけたので、今後もこのような活動を続けていきたいと考えています。



記念撮影時のみマスクを外しています

コラム

1

ifLink事務局への出向

## オープンコミュニティの事務局で2か月間働いてみました



株式会社デンソー  
鬼丸 禎史

### ifLink オープンコミュニティでこんなことを担当しました

- 会員との打ち合わせ
- 事務局運営やモジュール利用のマニュアル整備
- お問い合わせ対応
- ifLink紹介/体験イベント開催
- IMSの開発者を増やす活動

## コミュニティの「内側」だからこそ、得られる経験がたくさんあります

株式会社デンソーの鬼丸です。私は入社1年目の新入社員で、配属後からifLinkの活動に参加しています。オオギリ、ビストロ、IMS作成など、様々な活動に参加してきましたが、なんとコミュニティの事務局員として2ヶ月間働いてきました！その体験記をここに綴りたいと思います。

私が担当した事務局の仕事は、大きく4つありました。

1つ目は、会員サポートです。会員個別でのオンラインセッションや、事務局に届く問い合わせへの対応を行いました。

2つ目は、イベントの開催です。ifLink体験WSや、会員外向けのifLink紹介イベントを実施しました。

3つ目は、事務局運営の改善です。事務局運営の手順などをドキュメントに起こし、業務改善を図りました。

4つ目は、ifLink対応モジュールの普及促進です。

会員に貸出する「Try ifLinkキット」を整備したり、開発者を増やす活動などを行いました。

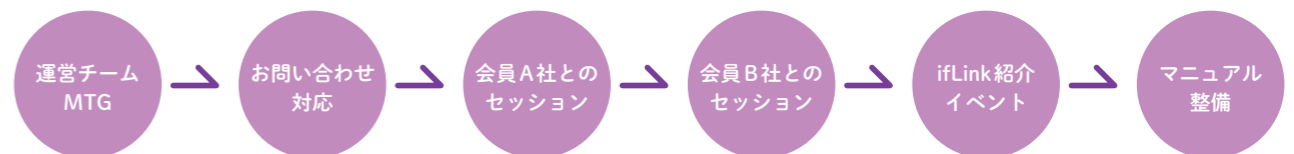
2ヶ月間、コミュニティならではの貴重な体験をたくさんさせていただきました。

1番の経験は、30社以上の企業の方と交流できたことです。会社では一介のエンジニアの私がこの経験をできたのは、事務局だからこそです。私を知ってもらえたことで、デンソーの鬼丸としてのifLink活動もさらに広がっていくでしょう。

その他にも、コミュニティを運営するノウハウを学べたり、イベントの企画から開催を一気通貫で任せられるなど、本当に良い経験をさせていただきました。

これを読まれた企業の方や学校の先生は、若手社員や学生に事務局体験をさせてみてはいかがでしょうか？必ずや成長の糧になるでしょう。

### 事務局のある一日



■ 事務局の一日はチームMTGで始まり、セッションやイベントなど企業との交流が盛りだくさんです。

# 株式会社デンソー

モビリティ分野は、百年に一度のパラダイムシフトに突入し、Mobileの次はMobilityだといわれるような激動の時です。自動車技術からQRコードまで、これまでに生み出した“世界初”は100を超し、働く仲間は16.8万人、グループ会社も200社を超える世界No.2のグローバルサプライヤー。デンソーのシステム開発力で車を世の中をつなげ、新しい価値を生み出したいと考えています。ウェルビーイングな移動体験を世界に届けるために国を超えて協働しています。



情報通信開発部メンバー集合写真



本社社屋

活動1年目は、会員の皆さんにあなたの機器やサービスを車とつなぎませんか？と呼びかけ、応募いただいた会社とはオンラインだけで試作品を共創することができました。ifLinkオープンコミュニティは、共創相手が探しやすく、多様な人々の意見が聴けるのがメリットと思います。そのメリットを生かして、さらに多くの会員間で自社のアセットや実現したい夢が交換されることを願っています。

VOICE



情報通信開発部  
事業開発3室 上級CX iLOC 理事  
安保 正敏

活動2年目は、東海大でifLinkにつないだバーチャルカーを使って授業を実施しました。楽しかったですね！動いたときに学生さんに喜んでもらえるのがとても嬉しかったです。2か月間ですが事務局での研修も経験しました。P35に詳しい情報を掲載しているので良かったら見てみてください。



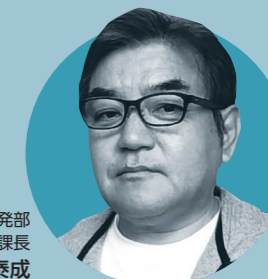
情報通信開発部  
事業開発3室 開発3課  
鬼丸 禎史

VOICE

## 当たり前を崩しながら進んでほしい

今回初めて、新人の工場実習をifLinkオープンコミュニティの事務局研修というカタチに変えて行いました。元々、出向などが多くなく、ともすると与えられた仕事をこなすということが主になってしまうことが課題だと思っていました。なぜ課題かと言うと、複数の組織を経験すると、当たり前だと思っている自分が所属する組織や文化を否定したり客観的に見たりと思考することができます。そうすると、最適解を出すことができるんでよね。

ですが、組織をまたがる経験が少ないとそういったことができません。なので、ぜひifLinkオープンコミュニティの事務局という社外組織を経験してほしいと思っていました。結果的に非常に良かったと思っています。事務局を経験した鬼丸さんですが、以前は自分の考えを伝えることに消極的でしたが、前に出るようになりましたね。鬼丸さん自身も、他の人に同じような経験をしてほしいと思っているようです。新人教育というのは組織情報を与えるための内向きな活動になりがちですが、人事にとっても新しい視点を提供できたように感じています。



情報通信開発部  
事業開発3室 開発3課 課長  
菅野 泰成

# 宇宙を目指すIoT!?

「月面に人が住む」という壮大な夢を実現するため、ifLinkを使って月面で酸素を管理する装置を作ろうとしています



株式会社IHI  
技術開発本部  
福島 洋輝



株式会社IHI  
高度マネジメント統括本部  
牧浦 能人



株式会社IHI  
高度マネジメント統括本部  
長島 聡志

## 共創メンバー

一般財団法人日本気象協会  
岡村 智明

株式会社デンソー  
安保 正敏

株式会社パトライト  
猿渡 隆浩

本田技研工業株式会社  
鈴木 直人

東芝IoTコントロールシステム株式会社  
三塚 長

一般財団法人日本気象協会  
木幡 咲英理

株式会社デンソー  
鬼丸 禎史

株式会社パトライト  
福本 克也

本田技研工業株式会社  
沈 韓楊

目白大学メディア学メディア学科平山秀昭研究室  
平山 秀昭

一般財団法人日本気象協会  
堀江 祐圭

株式会社トライエス  
勝由 里子

CollaboGate Japan株式会社  
内田 光紀

古河電気工業株式会社  
用瀬 英順

エレックス工業株式会社  
川元 宏朗

株式会社日経リサーチ  
赤田 融加

株式会社クレスコ  
小山 内篤

京セラ株式会社  
梅原 正教

## 月から地球を見る人が増えれば、世の中はより良いものになる

月から地球を見ると、少し大きめのビー玉くらいに見えるそうです。アポロ15号の宇宙飛行士ジェームズ・アークウィンは、月から見える地球を「宇宙の暗黒の中の小さな青い宝石」と表現し、その美しさと同時に弱々しさに心を奪われたそうです。

もし皆さんが月に行って地球を見ることができたら、どんなことを思うか、想像してみてください。「あの美しく儚い地球を永遠に守りたい」とか「私たち生命はなんのために地球に生まれたのか」とか、地球規模・生命規模の想いが皆さんの中に湧き上がってくると思います。

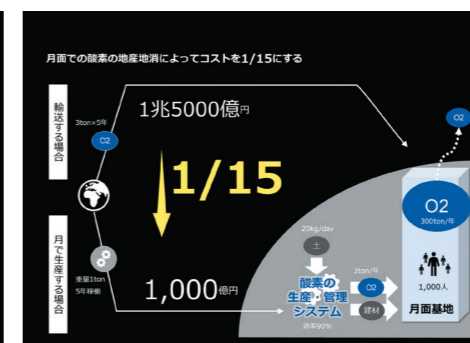
地球を外側から眺めることで、地球を慈しむ感情が生まれる。たくさんの方がこうした経験すると、世界はきっと良いものになると信じています。

しかし、たくさんの方が月に行けるようにするには課題があります。1kgあたり1億円という月への莫大な輸送費です。月に滞在するためには酸素が必要ですが、これを地球か

ら持って行くと費用がかかります。加えて、月で人が住むためには食料も自給自足する必要があり、植物・動物・微生物も生育できる環境を整えなくてはなりません。

## ifLinkを使って月面で酸素を管理する装置を作りたい

人と動植物が快適に生活するために、月面で酸素を効率的に管理できる装置を作りたいと考え、これまで研究活動を進めてきました。そうした中で、ifLinkオープンコミュニティと出会い、民間企業による宇宙開発と、誰もがIoTを使えるifLinkの仕組みを掛け合わせて、宇宙とIoTの民主化を目指そうという考えに至りました。



(左)月に滞在するための最大の課題は、1kgあたり1億円という輸送費  
(中央)月面で酸素を効率よく使うシステムによって、費用を1/15にする  
(右)人だけでなく、植物・動物・微生物も育成できる環境構築が必要



# 株式会社IHI

作ったり、解決したり、人を応援したりと“何か”をすることにモチベーションを持っている集団です。例えばですが、社内の困りごとを社内限定のSNSに投稿すると、必ず助けてくれる人がいます。そういった内に秘める想いを持っている社員や入社してきてくれる若手の気持ちを消さないように、通常業務の20%の範囲で社内副業OKとする試みを始めています。

それとIHIが作るものは、IHIだけの力で作れない巨大なものが多くあるため、お客様と共にものづくりを積み重ねてきました。

その結果、“お客様とやりぬく力”がIHIの一つの特徴になっていると感じています。



豊洲IHIビル



オスマンガーズィー橋 (イズミット湾横断橋)

50名ほどを集めたifLinkオオギリを使った社内IoT教育を実施予定でしたが、直前でコロナの感染拡大を考慮し断念しました。来年度はぜひ実現したいと思っています。

教育の中で、ifLinkを使って簡単にモノやサービスの試作を試せる楽しみを伝えたいと思っています。

VOICE



高度情報マネジメント統括本部  
デジタルビジネス創造部  
長島 聡志

ifLinkオープンコミュニティでの活動は通常業務とは全く関係なく、社内副業制度を利用して活動しています。ビストロifLinkで「宇宙開発アイデアソン～将来の月面技術で、いま、地球上でなにができるか～」というテーマを立てました。会員の皆さんが、見ず知らずの自分の意見をインセンティブもなしに聞いてくれて、楽しんで意見をくれることに驚きました。現在も一週間に1回ほど活動をしており、ifLinkは様々なデバイスを簡単につなぎ合わせることができるので、いち早く試作品ができそうだと感じています。



技術開発本部  
ものづくり推進本部  
福島 洋輝

VOICE

## 熱量だけではどうにもならないけど、 熱量がないと始まらない

これまで産業別のサイロで強みを磨いてきましたが、社会課題が複雑化する中、新しい結合で価値を生み出していくことが大切だと思います。特定の産業の枠の中で課題が降ってくるような環境でしたが、デジタル化により想定していない課題に直面するようになってきました。これに対応していくためには、人と人のレベルで繋がって新しい価値を生み出していく必要があります。

この点でifLinkオープンコミュニティの活動は積極的に取り組んでいきたいと思っています。通常の共創活動は、技術開発・要素技術・新規事業など枠がありますが、ifLinkオープンコミュニティの活動は社外で人を集めるところから始まります。福島さんのようにコミュニティの混沌中でスピード感を持って活動を進められる人材がIHIにとっては必要です。どんどん外に出て人と人のつながりを大切にしながら広げてほしいですし、そこから気づきを以て会社に還元してほしいです。



高度情報マネジメント統括本部  
LCBシステム部 部長  
星野 輝男